

公共事業等施行状況調（令和6年1月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		(1 月 末)				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	35,902	31,974	21,931	22,729	12,371	56.4	14,336	63.1	
2	農林・水産	38,294	39,201	30,243	31,935	20,992	69.4	22,147	69.4	
3	道 路	69,333	70,899	39,235	48,586	27,615	70.4	30,005	61.8	
4	港湾・空港	10,293	9,155	5,418	4,748	2,833	52.3	2,704	57.0	
5	下水道・公園	10,795	9,400	2,520	2,329	1,937	76.9	1,149	49.3	
6	住 宅	1,871	1,489	1,404	1,051	1,181	84.1	911	86.7	
7	庁 舎	3,088	2,467	2,788	2,315	2,076	74.5	1,923	83.1	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,586	4,047	3,957	2,780	2,714	68.6	1,817	65.4	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	83	265	77.0	78	94.0	
12	災害復旧	8,619	954	4,849	809	4,849	100.0	411	50.8	
13	その他	6,508	7,584	4,299	4,274	3,566	82.9	3,099	72.5	
	計	192,541	178,121	116,988	121,639	80,399	68.7	78,581	64.6	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和6年1月末）

（単位：社、件、百万円、％）

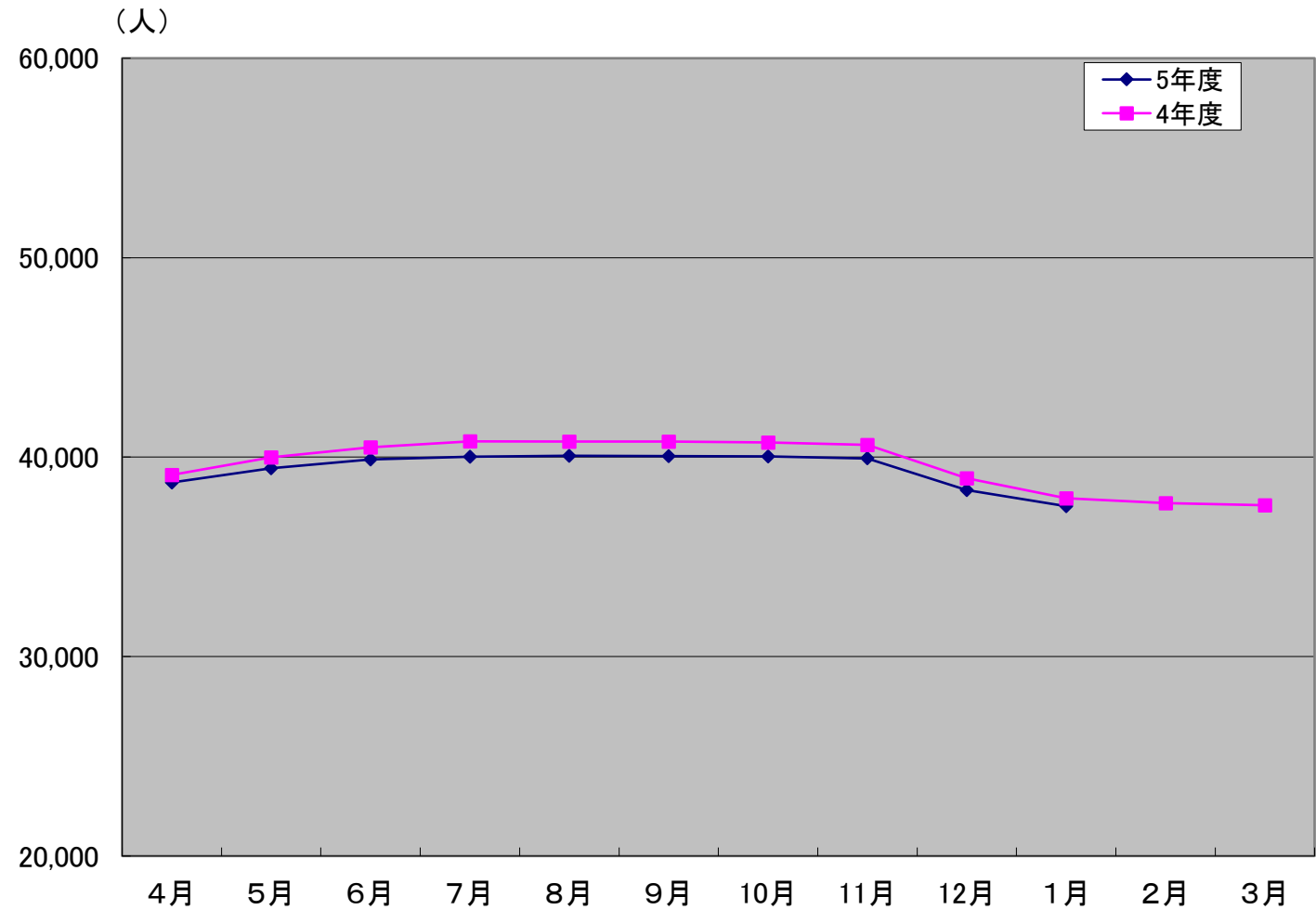
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
5年度	192,541	116,988	22,980	2,262	80,399	22,446	2,147	70,922	460	89	3,927	74	26	5,550
					B/A 発注率 68.7	C/B 97.7	94.9	88.2	D/B 2.0	3.9	4.9	E/B 0.3	1.2	6.9
前年度比	108.1	96.2	100.4	99.1	102.3	100.4	98.3	99.6	92.0	106.0	92.2	176.2	185.7	176.5
4年度	178,121	121,639	22,889	2,283	78,581	22,347	2,185	71,177	500	84	4,260	42	14	3,144
					B/A 64.6	C/B 97.6	95.7	90.6	D/B 2.2	3.7	5.4	E/B 0.2	0.6	4.0

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月	40,068	40,778
9月	40,056	40,773
10月	40,031	40,728
11月	39,936	40,608
12月	38,353	38,934
1月	37,539	37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	38,353
資格取得者数	409
資格喪失者数	1,222
転入者数	0
転出者数	1
今月末被保険者数	37,539

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)1月末



建設資材の需給・価格動向調査 (6年2月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○																								普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。12月の青森県内の販売量は2万1千トン(協会調べ)で前年同月比22.2%減。需要低迷による出荷減が長期に渡っており、前年同月実績を下回る状況に歯止めがかからない。価格面では、製造コストに影響する石炭相場に目立った動きは見られず、メーカー各社は、カーボンニュートラルを見据えた設備投資の費用確保を唱え、現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○																								道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○																								県内の1月の出荷量は2万m3(生コン工組調べ)で前年同月比20.0%の減少。小規模工事向けが中心で県内全体の生コンの商況は盛り上がり欠いている。メーカー各社は、原材料および輸送コスト増加による採算悪化回避のため、強気の姿勢で交渉を継続している。工事の採算確保を優先する需要家は、満額の受け入れには抵抗しつつも安定調達を優先。青森と八戸で値上げの一部が浸透した。メーカー各社は引き続き交渉を継続する構えだが、浸透には時間を要しそう。先行き、横ばいの公算大。
砕石		○																								生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は電力料金の値上げや燃料の高止まり、運転手不足が製造・輸送コストを押し上げているとして、値上げを表明し交渉を開始している。多くの需要家は短期間で再度重なる値上げに難色を示しつつも、安定調達を優先し値上げに理解を示す向きも見られはじめた。今後、両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、目先、強含みの見通し。
小 棒		○																								SD295・D16でトン当たり113,000円と前月比変わらず。新規需要が低調で市中は盛り上がり欠く状況が続いている。エネルギー価格高騰による電力料金および物流費の上昇などを背景とした製造コスト増に対応するため、メーカー各社は価格交渉を本格化させた意向。一方、需要家は調達を急ぐ案件が少ないため、当用買いに徹している。需要が高まる時期はまだ先になると予想され、供給側と需要家のこう着状態は続くと思われる。目先、横ばいで推移する公算が大きい。
アスファルト		○																								1月の県内出荷量は7千トン(合材協会調べ)で前年同期比77.9%の増加。出荷量は前年同月を上回るものの、維持修繕など小規模工事向けが中心で商況は盛り上がり欠いている。主な原材料であるスチール価格が足元で下落に転じるなか、メーカー各社は未達分の値上げの浸透を目指して交渉を継続している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも値上げ受け入れには慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
木 材		○																								管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。昨年12月の県内新設住宅着工戸数は276戸で前年同月比28.5%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比20.4%の減少、貸家が同58.9%の大幅減少などとなっている。円安を背景とする資機材高や人件費上昇などによる住宅建設費の上昇が終息せず、全国的な新設住宅着工の低迷が長期化。昨年8月に発生した、北関東の製材大手業者拠点工場火災による関東・東北全域の米松材不足も解消されていない。流通業者は、欧州材や国産材による代替対応を続けている。目先、横ばいで推移する見込み。
油 類		○																								軽油はミニローリー渡りでリットル当たり126円、重油はローリー渡りでリットル当たり87円ととも前月比横ばい。中東情勢の緊迫が一段と強まっているが、米中経済の先行き不安から需給緩和の見方が根強く、原油相場は方向感を欠いている。原油調達コストは増加したが、補助金により実質仕切価格は引き下げられた。こうしたなか、流通筋は採算重視の姿勢を維持している。引き続き国内市況は補助金により安定する見込み。目先、横ばいの見通し。
型枠合板		○																								12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。昨年12月の輸入合板入荷量は、18万4千m3(財務省調べ)で前年同月比4.6%の減少。また、同1～12月の年間入荷量は35年ぶりに200万m3を下回り、記録的低水準となった。入荷減少が続く状況下ながらも荷動きは低調で、市中在庫は減少していない。流通業者は、仕入れコスト高を販売価格へ反映すべく値上げの機会を模索しているが、現物調達が一段落した需要家の購入姿勢は厳しい。令和6年能登半島地震に伴う災害復旧需要も広域的には顕在化しておらず、目先、横ばいで推移する見通し。
形 鋼		○																								200×100でトン当たり125,000円と前月比変わらず。円安による原料調達コストや輸送コストの増加を背景に、一部メーカーが店売り向け価格の値上げを表明したことで、先安観は解消され底値感が出てきた。一方、店売り需要の中心である中小物件は低調で、需要が盛り上がる気配は感じられない。需要の後押しが弱い環境下では値上げに時間を要するとの見方が大勢であり、流通各社は採算割れを懸念するも、安値受注の回避にとどまっている。目先、横ばいで推移する見通し。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (6年2月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	640	0.0	640	0.0	640	0.0	640	0.0	25,600円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	44,700	0.0	44,700	0.0	44,700	0.0	44,700	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	16,800	6.3	15,600	0.0	18,500	5.7	16,967	4.1	
砕石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	110,000	-2.7	110,000	-2.7	110,000	-2.7	110,000	-2.7	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	126.0	0.0	126.0	0.0	126.0	0.0	126.0	0.0	126,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	87.0	0.0	87.0	0.0	87.0	0.0	87.0	0.0	87,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

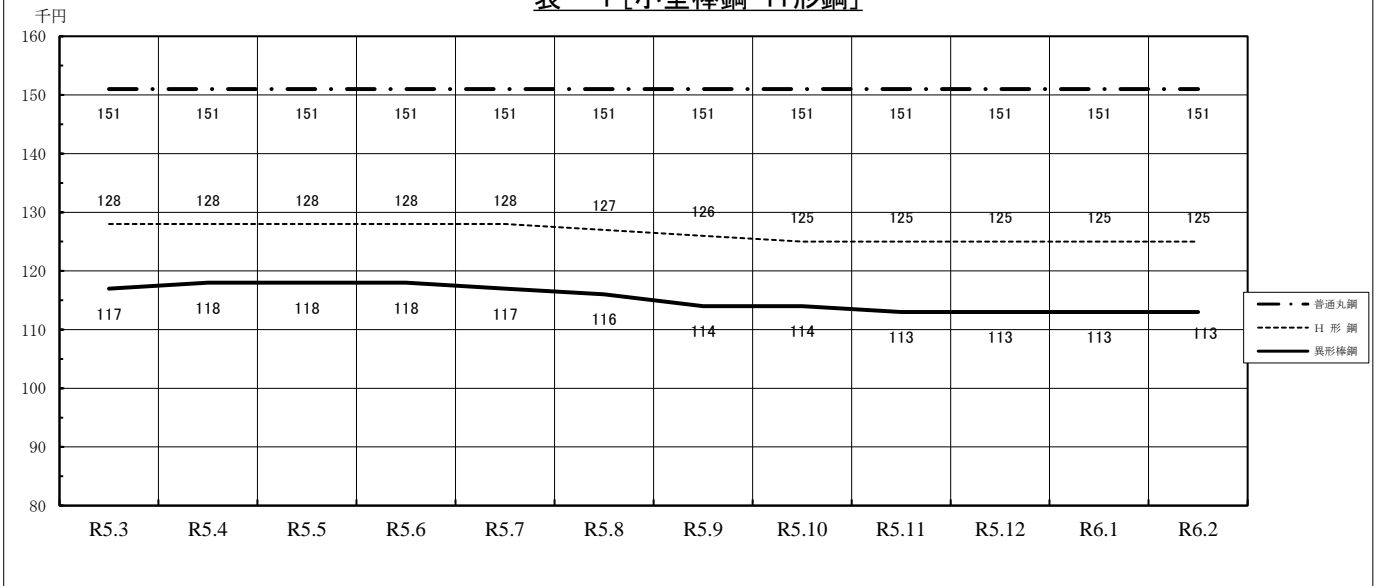


表-2 [セメント・生コン]

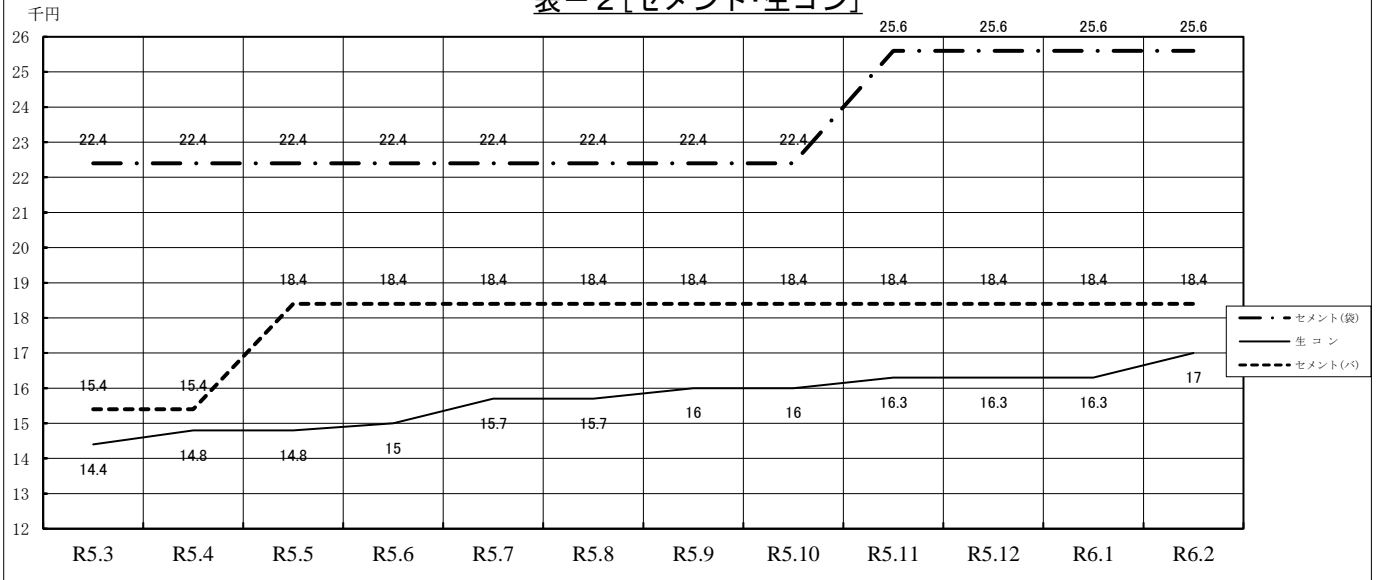
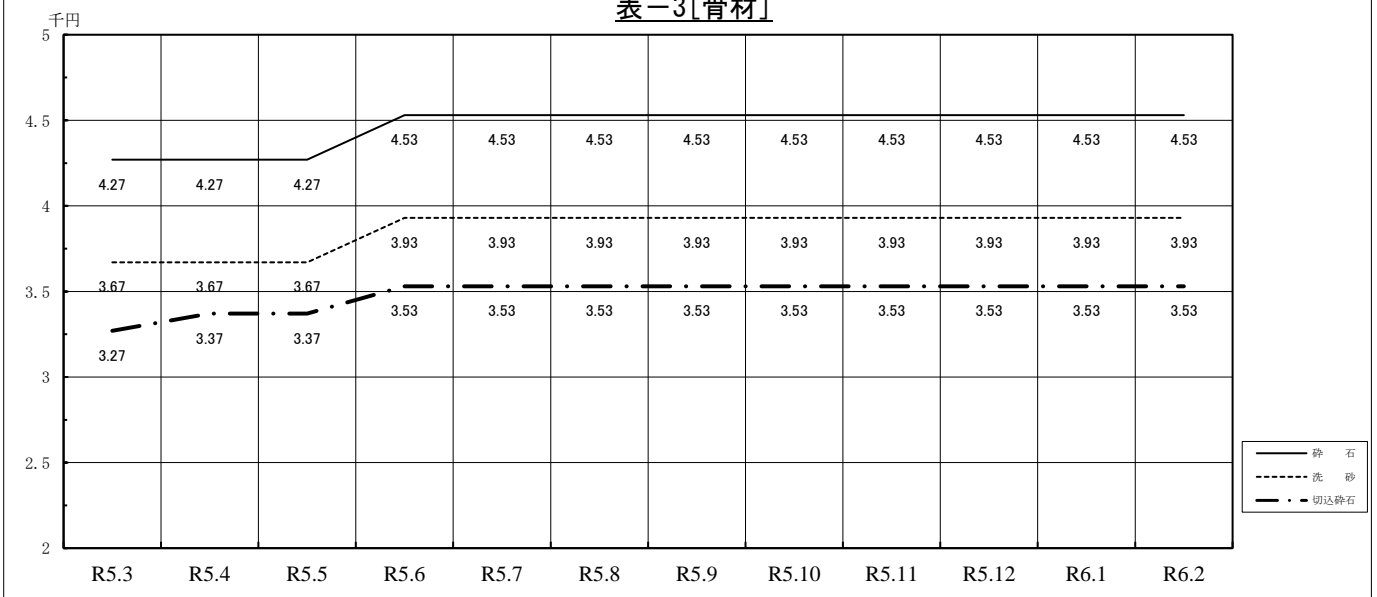


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

